

東京湾海況情報 20-07

東京湾水質調査結果（平成20年10月分）

平成20年10月10日発行

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料：東京湾水質調査(内湾：10/7(わかふさ)、内房：10/7(ふさみ丸))

データ提供：神奈川県水産技術センター、東京海洋大学(新富津水温ブイ)

資料参照：関東・東海海況速報、湾口海況図、漁海況旬報

水温・塩分(図1~3、表1)

表層水温は、全域で $22^{\circ}\text{C} \pm 1^{\circ}\text{C}$ 以内とほぼ平年並みでした。表面塩分は、出水の影響で東京沿岸を中心に低く千葉よりで高めの分布ですが、一部を除き平年よりやや低めでした。

底層塩分は、先月よりやや低めで、特に内房北部から湾口部にかけて広範囲に低下していました。秋の長雨による出水と、表面水温の低下により上下混合が進んだものと推察されました。

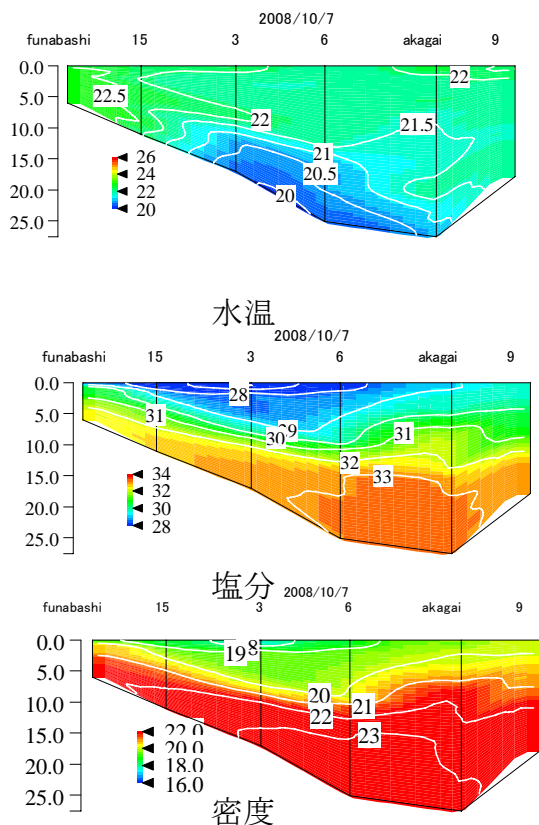


図2 内湾の鉛直分布

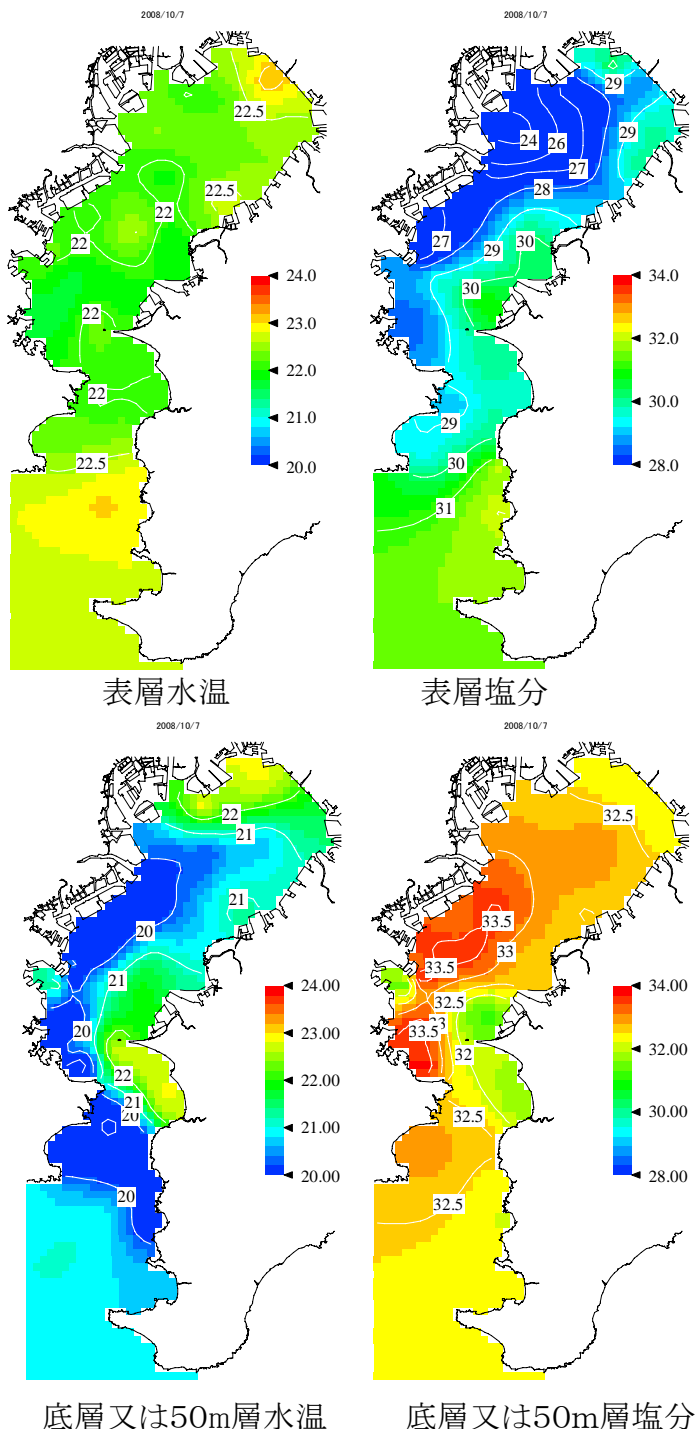


図1 東京湾の水温・塩分分布

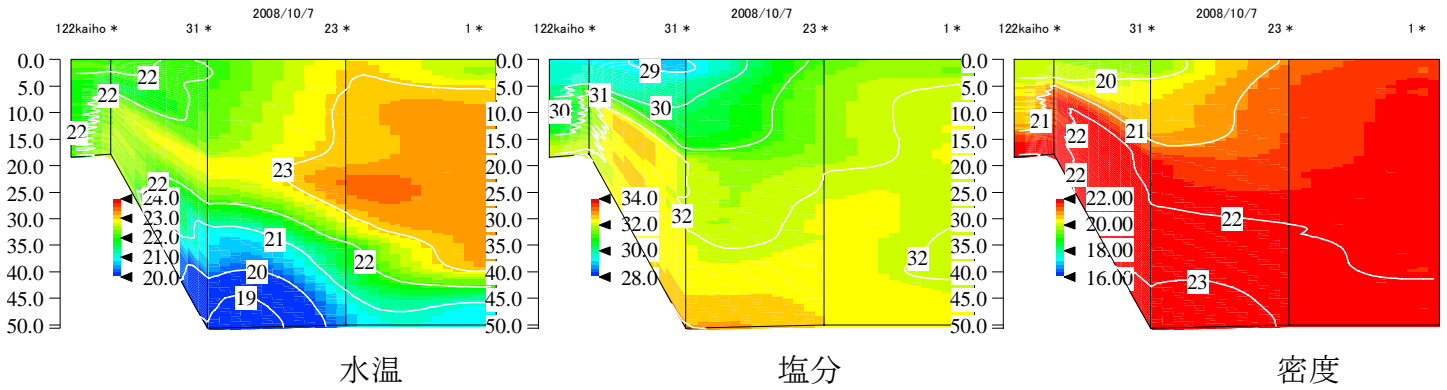


図3 内房の鉛直分布

赤潮の状況(図4、表1)

アクアライン北側は、赤潮傾向となっており、pHは8.4~8.5酸素飽和度150%弱(140~148%)を示し、透明度は場所によって1m台(1.6~1.9)となっていました。

プランクトンも全体に多くなってきており、渦鞭毛藻のプロロセントルム(*Prorocentrum minimum*)、珪藻のニッチア(*Nitzschia sp.*)、タラシオシーラ(*Thalassiosira sp.*)が優占していました。その他に、コスキノディスクス(*Coscinodiscus sp.*)も見られました。

植物プランクトン量の指標となるクロロフィルa量は、センサー値ですが内湾で8~36 $\mu\text{g/l}$ でした。

千葉県赤潮の目安は以下のとおりです。

色: オリーブ~褐色、酸素飽和度: 150%以上、透明度: 1.5m以下、pH: 8.5以上、クロロフィルa量: 50 $\mu\text{g/l}$

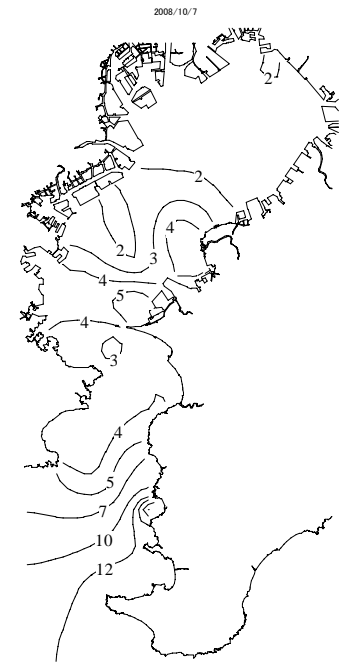
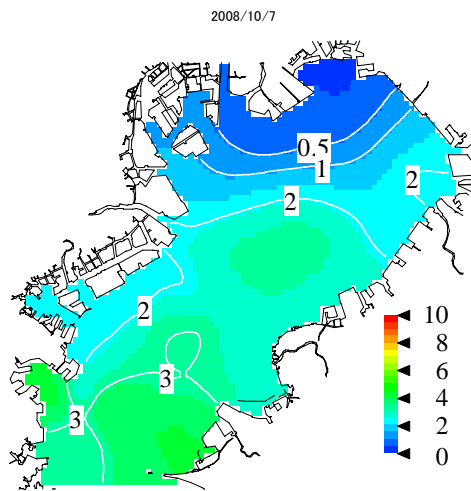


図4 透明度の分布(m)



貧酸素水塊の状況(図5、表1)

底層の無酸素水の規模は、全体では縮小していますが、北部ではごく沿岸まで接近しており、つ青潮が発生してもおかしくない状況でした。

千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量 2.5 ml/l (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水塊としています。

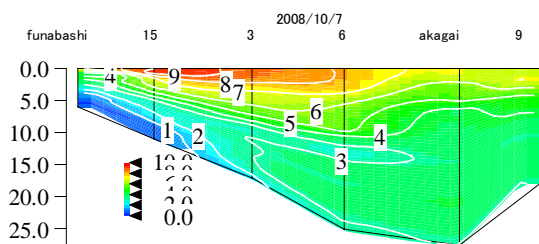


図5 内湾のDO (ml/l)
(上: 底層分布、下: 鉛直分布)

栄養塩類(図6、表1)

表層の栄養塩類は、出水により東京都海面を中心に非常に高い値を示す高濃度の分布域が出現している反面、千葉県側では全体に平年より低い値の分布域となっていました。今後風により拡散が進めば、千葉県側でも濃度の回復が期待されます。

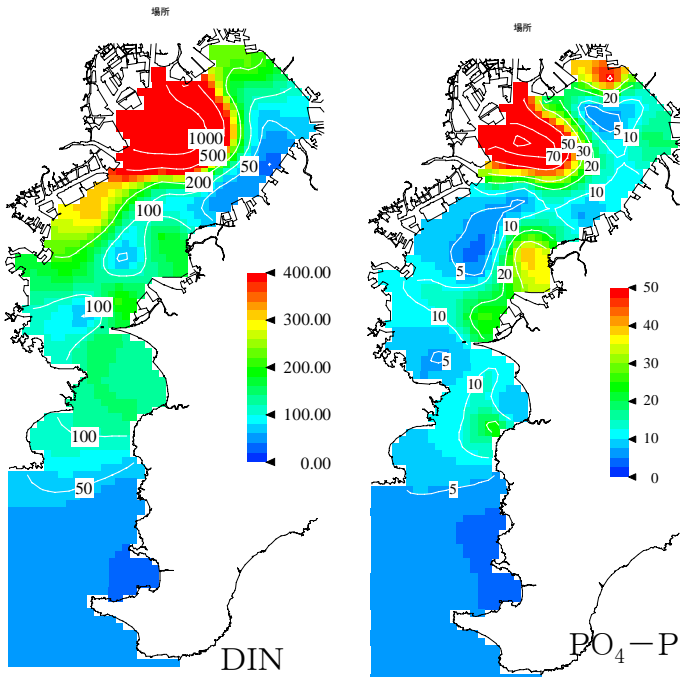


図6 表層の栄養塩分布(μg/l)

黒潮の動き(図7)

黒潮は、D型流路で、青ヶ島の東側に形成された冷水塊を大きく迂回した後、房総沖を離岸しながら北東方向に流れています。いまのところ沖合水の波及はない模様です。

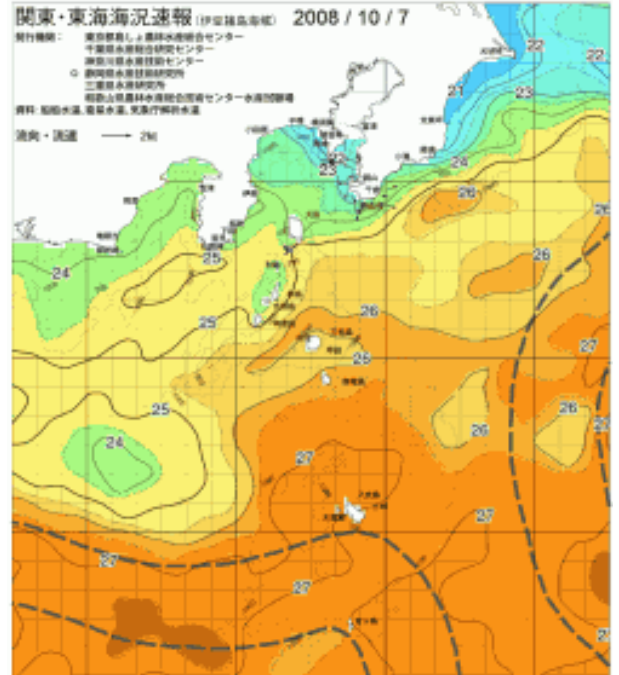


図7 黒潮の動き(10月7日)

表1 主な調査点の水質調査結果

調査年月日:平成20年10月7日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機 態窒素 (μg/l)	リン酸 態リン (μg/l)	アンモニア 態窒素 (μg/l)	クロロフィ ルa量 (μg/l)	
内湾	船橋	2.0 (2.4)	22.7 (22.5)	30.74 (28.57)	8.1 (8.4)	0.1 (2.9)	215 (293)	52 (34)	96 (71)	24.8
	st. 15	1.9 (2.7)	22.2 (22.3)	27.46 (28.24)	8.5 (8.4)	0.3 (1.8)	203 (272)	3 (21)	2 (41)	29.8
	st. 3	1.8 (2.8)	22.3 (22.1)	25.73 (28.09)	8.4 (8.5)	1.8 (1.5)	1,430 (291)	74 (20)	292 (43)	25.6
	st. 6	2.0 (3.5)	21.8 (22.1)	27.29 (28.66)	8.4 (8.4)	2.7 (5.8)	364 (301)	11 (20)	19 (44)	19.0
	st. 9	2.2 (4.2)	22.0 (22.1)	29.39 (29.39)	8.4 (8.3)	3.1 (3.1)	44 (260)	5 (22)	4 (34)	25.2
	盤洲Cブイ	1.8 (3.7)	22.7 (23.1)	28.85 (30.05)	8.5 (8.3)	2.4 (2.5)	26 (262)	5 (34)	5 (52)	35.9
	st. 8 (盤洲Aブイ)	4.7 (4.1)	21.8 (22.2)	30.04 (30.02)	8.2 (8.2)	2.4 (2.4)	171 (291)	38 (32)	44 (48)	10.7
	富津ベタ	5.8 (4.7)	21.8 (22.0)	30.81 (29.96)	8.1 (8.3)	3.7 (3.8)	197 (241)	25 (26)	31 (40)	8.7
内房海域	第2海ほ下	3.0 (7.0)	22.1 (22.3)	29.43 (31.18)	8.2 (8.2)		135 (224)	6 (23)	0 (41)	3.4
	st. 31	3.5 (8.2)	22.1 (22.5)	28.30 (31.57)	8.2 (82.0)		126 (165)	9 (15)	0 (33)	6.2
	st. 23	6.0 (14.3)	22.9 (23.6)	30.82 (33.43)	8.2 (8.3)		37 (45)	3 (4)	0 (20)	2.0
	st. 1	13.0 (14.6)	22.4 (23.8)	31.56 (33.69)	8.1 (8.3)		26 (45)	4 (4)	0 (21)	0.8
	st. 10 (下洲沖)	3.5 (6.8)	22.2 (22.4)	28.22 (31.29)	8.2 (8.2)		113 (196)	11 (16)	0 (38)	
	st. 12 (湊沖)	4.0 (7.0)	22.1 (22.4)	29.30 (31.54)	8.1 (8.2)		110 (168)	7 (15)	0 (33)	
	st. 22 (保田沖)	8.0 (10.8)	22.7 (23.3)	31.60 (32.89)	8.0 (8.2)		45 (93)	4 (6)	4 (25)	
	st. 24 (富浦沖)	15.0 (14.2)	22.9 (23.5)	32.08 (33.59)	8.1 (8.2)		23 (49)	2 (5)	6 (22)	
	st. 26 (館山湾内)	15.0 (14.1)	23.0 (23.6)		8.1 (8.2)		15 (71)	2 (7)	6 (24)	

():過去10年間の平均値(ただし富津ベタは過去8年分)

*透明度とクロロフィルa量の網掛けは赤潮、DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。なお、今月のクロロフィルa量は、センサー値で示しています。